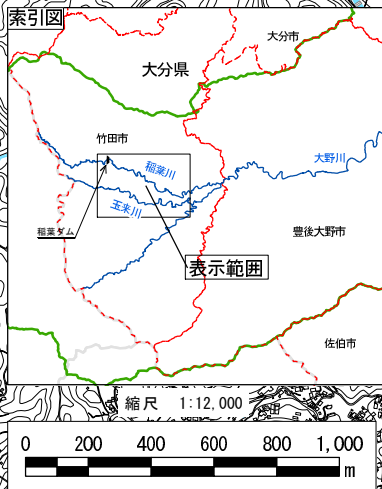
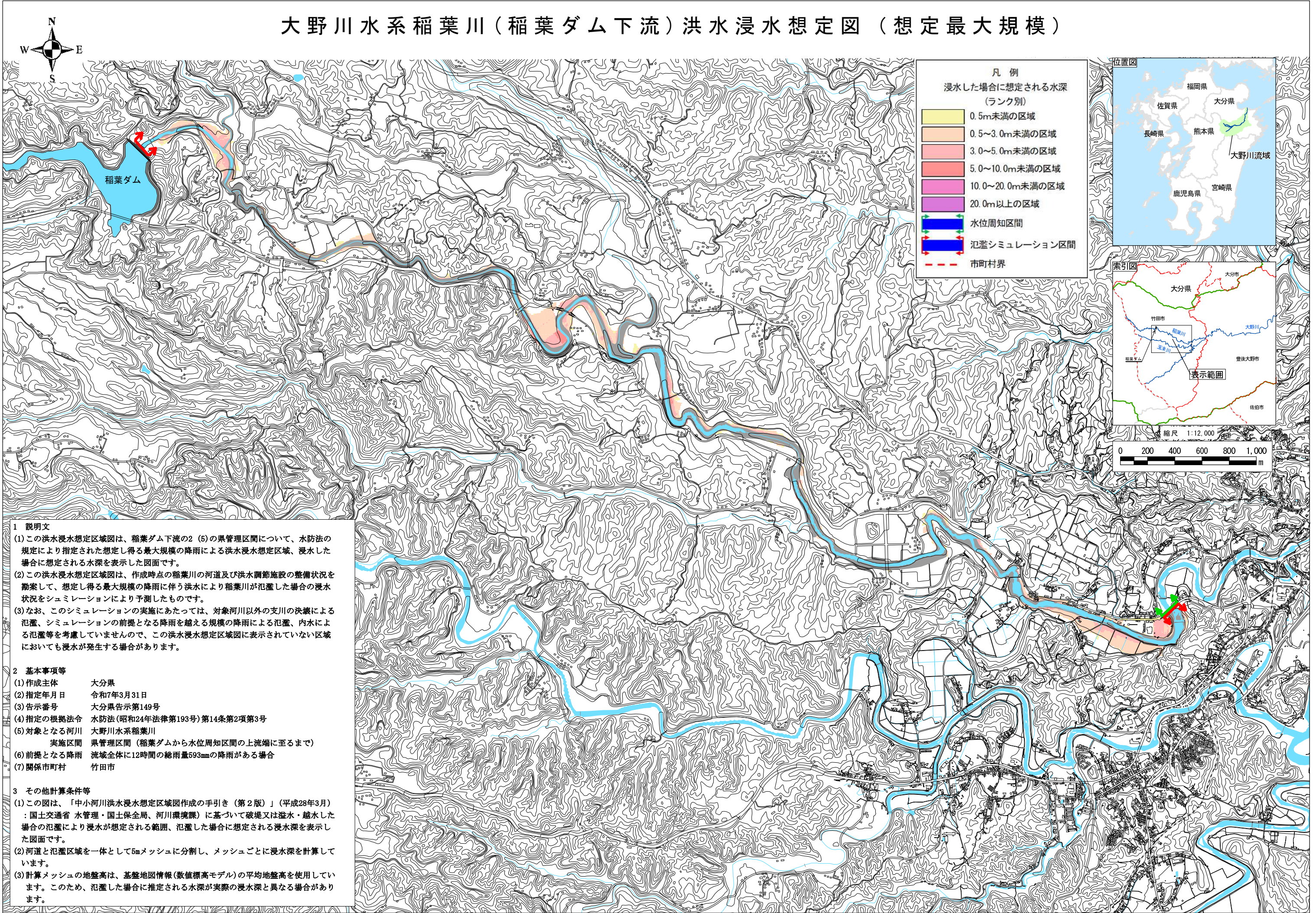


大野川水系稲葉川（稲葉ダム下流）洪水浸水想定図（想定最大規模）



1 説明文

(1) この洪水浸水想定区域図は、稲葉ダム下流の2 (5) の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、作成時点の稲葉川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により稲葉川が氾濫した場合の浸水状況をシュミレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシュミレーションの実施にあたっては、対象河川以外の支川の決壊による氾濫、シュミレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に表示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 大分県

(2) 指定年月日 令和7年3月31日

(3) 告示番号 大分県告示第149号

(4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項第3号

(5) 対象となる河川 大野川水系稲葉川

実施区間 県管理区間(稲葉ダムから水位周知区間の上流端に至るまで)

(6) 前提となる降雨 流域全体に12時間の総雨量593mmの降雨がある場合

(7) 関係市町村 竹田市

3 その他計算条件等

(1) この図は、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き(第2版)」(平成28年3月):国土交通省 水管理・国土保全局、河川環境課)に基づいて破堤又は溢水・越水した場合の氾濫により浸水が想定される範囲、氾濫した場合に想定される浸水深を表示した図面です。

(2) 河道と氾濫区域を一体として5mメッシュに分割し、メッシュごとに浸水深を計算しています。

(3) 計算メッシュの地盤高は、基盤地図情報(数値標高モデル)の平均地盤高を使用しています。このため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。